平成３０年度宇陀市一般会計当初予算要求について公表します

（平成２９年１１月１日）
宇陀市企画財政部財政課

平成３０年度の各部署からの要求額は約１９８．３億円となり、平成２９年度当初予算額と比較すると１１．１％約１９．８億円の増となっています。

要因としては、普通建設事業や物件費、繰出金、扶助費の増によるものです。

歳出から歳入を差し引いた財源不足額も約４４．１億円となっており、昨年度要求時より約４．１億円の増となっています。

平成３０年度当初予算は、平成３０年４月に市長選挙を控えているため、経常経費や継続事業等を中心とした予算組みとなりますが、１１月から１月までの間、数次の予算査定を実施し、要求のある歳入を精査するとともに、歳出要求事業を見直していくことになります。

平成３０年度　予算要求総額の概要（一般会計）

［単位：千円　％］

	平成３０年度 要求額	平成２９年度 予算額	増減額	伸び率
歳出要求総額	19,825,063	17,850,000	1,975,063	11.1
人件費	3,550,005	3,455,259	94,746	2.7
物件費	3,203,006	2,912,415	290,591	10.0
扶助費	2,486,183	2,350,044	136,139	5.8
補助費等	3,104,073	3,066,060	38,013	1.2
普通建設事業	3,090,943	1,569,186	1,521,757	97.0
災害復旧費	39,700	78,500	▲38,800	▲49.4
公債費	2,592,274	2,799,680	▲207,406	▲7.4
積立金	49,860	70,913	▲21,053	▲29.7
投資及び出資	30,000	14,700	15,300	104.1
貸付金	1,051	1,051	0	0.0
繰出金	1,647,968	1,502,192	145,776	9.7

	予備費	30,000	30,000	0	0.0
歳入要求総額（注１）		15,419,045	17,850,000	▲2,430,955	▲13.6
	市税	2,654,877	2,701,422	▲46,545	▲1.7
	地方譲与税	153,027	163,218	▲10,191	▲6.2
	各交付金	610,817	651,106	▲40,289	▲6.2
	地方交付税	7,760,000	8,110,000	▲350,000	▲4.3
	分担金及び負担金	155,898	163,624	▲7,726	▲4.7
	使用料及び手数料	296,359	292,051	4,308	1.5
	国庫支出金	1,908,083	2,008,116	▲100,033	▲5.0
	県支出金	976,397	943,874	32,523	3.4
	財産収入	67,454	65,821	1,633	2.5
	寄附金	32,584	30,001	2,583	8.6
	繰入金	100,772	700,085	▲599,313	▲85.6
	繰越金	1	100,000	▲99,999	▲100.0
	諸収入	202,776	363,082	▲160,306	▲44.2
	市債（臨財債等）	500,000	1,557,600	▲1,057,600	▲67.9

財源不足額	4,406,018

注１）　平成３０年度の歳入中、まちづくりや財源調整のための繰入金及び普通建設事業等に係る地方債は現時点では見込んでいません。